

<http://www.palcoop.or.jp>

協同組合の精神で、これからも息長く被災地を見守り続けます



救援物資を出していただいた方からのお褒りも入っていました。

「家族セット」(家庭用品の詰合せ)をお届けし、とても喜ばれていました。

東日本大震災から12週間が過ぎました。パルコフでは3月11日以来、被災地へ伺って現地の要望を知ることから始め、被災者のみなさんに寄り添ってきましたが、まだまだ復興には遠い道のりです。

被災者を思う組合員さん一人ひとりの思いを重ね合わせ、それを活動という形に変えていくことは、まさに「協同組合」の精神です。パルコフは事業をやりながら、引き続き見守り続けることから取り組んでいきます。

パルコフでは、岩手県遠野市のボランティアセンター「遠野まごころネット」(*)に登録して、5月21日より活動を始めました。今後も順次、職員がボランティアとして(自分の休暇を使い)参加させていただきます。日常の業務には、できる限り影響を及ぼさないようにして取り組みますので、どうぞ、ご理解ください(写真は第1陣の活動の様子です)。



〈予告〉

仮設住宅に必要な 未使用の台所用品を提供ください

詳細は、次週(13日〜)配布の
チラシでご案内します

避難所から仮設住宅への転居が始まるにあたって、生活のための身の回り品が不足することが分かりました。

6月20日〜24日の期間に回収して、転居に間に合わせて現地にお届けする予定です。

未使用の「台所用品」「タオル」「バスタオル」がありましたら、ご準備ください。

みなさんのご協力をお願いします。



釜石市でホテルの屋内清掃で出てきた食器のほこり拭きの様子。



農家の農地のがれきを撤去する「がれき撤去隊」。数年先の農業復興に向けて奮闘しています。

- 〈第1陣〉 5月21日〜5月27日 6名
- 〈第2陣〉 5月28日〜6月3日
支所職員など7名
- 〈第3陣〉 6月4日〜6月10日
支所・店舗職員など10名
(以降も、予定しています)

被災地での活動に行かせていただき、ありがとうございました。自らも被災しているにも関わらず、ボランティアとして参加されている岩手県内からの方が多くおられました。*できる人ができることをやっていたらいいなと、と、皆さん謙虚な気持ちで活動されていて、人と人のつながりの大事さをあちらこちらで見感じました。

現地では日々、くらしの状況が変化しており、ずっと同じ活動が続くわけではありません。今後は仮設住宅に入る方も増え、内容を変えながらの長い活動が求められていると感じました。

(共同購入本部・永田雅章)

【重要】「東日本大震災」による 今後の商品供給の見通し

6月6日現在、6月3回以降のお届けできない商品は予定されていませんが、引き続き、工場・物流センターの被災による原料や資材の不足など、申し訳ございませんが、お届けできなくなる場合があります。ご理解のほどお願いいたします。

来週(6月3回)、さ来週(6月4回)にお届けできない商品

は今のところありません。

今週お届けできていない商品につきましては、請求明細または個人別のお知らせをご覧ください。

商品および、配送のお問い合わせは
組合員サービスセンター ☎ : 0120-409-555
携帯電話からは : 0570-085-555(有料)
(月〜金 午前9:00〜午後10:00 / 土 午前9:00〜午後5:00)

(*)「遠野まごころネット」って?

「遠野市被災地支援ネットワーク『遠野まごころネット』(遠野被災地支援ボランティア)」は遠野市民を中心として結成されたボランティア集団で、沿岸部の被災地の拠点となっています。
ホームページ <http://tonomagokoro.net/>

「東日本大震災救援募金」にご協力ありがとうございます

組合員さんよりお預かりした募金3,840万円を、第2回目の募金の送金として、5月31日に日本生協連にお渡ししました。募金は日本生協連で集約し、各県の生協連から行政を通じ、被災者のみなさまへ届けられます。4月11日にお渡しした1回目とあわせて、累計約7,965万円になりました(5月25日現在)。

尚、新たに、ボランティアセンター運営サポートのための「(遠野)まごころネット募金」を6月5回の注文書より開始する予定です。ご協力をお願いします。